

再入學
明治十七

明治十七年五月五日
東京大學教授等其擔任ノ學科ニ限リ政治ニ
屬スルモノヲ除キ適宜公衆ヲ聚メ學術演說
ヲ為スコトヲ得セシメラレ度儀ニ付上稟
凡ソ官吏タル者其職務ニ係ル外政談講學ヲ目
的トシテ公衆ヲ聚メ講談演說ノ席ヲ開ク等不
都合之儀ニ付右等之儀無之様各長官ニ於テ取
締可致旨去ル明治十二年五月中御達有之右ハ
畢竟巴ムヲ得サルニ出ツル儀トハ存候得共學
術上ノ講演ヲ為スカ如キハ官吏ト虽モ學術練
熟ナルモノニハ之ヲ許可セラル、モ實際弊害
無カルヘリ殊ニ方今ニ在テハ却テ他ノ弊害ヲ
矯正スルノ效アルヘクシテ其ノ民業上ニ施政



上ニ於ケル裨益モ亦鮮カラサルヘク存候蓋シ
方今世間講談演説ノ行ハル、コト頗ル盛ナリ
ト虽モ其講演スル所ハ政治ノ一事ニ偏シ其學
術演説ヲ以テ名トスルモノモ猶ホ且ツ政談ニ
涉ルヲ免カレサルモノ多ク殊ニ其講演者ハ大
抵非見淺識ノ徒ニシテ動モスレハ詭言激説ヲ
放テ其學術演説ニ於テモ着實ノ説ヲ為スハ極
メテ稀レニシテ概ネ失當ノ論タルヲ免カレス
而シテ智慮未タ牢固ナラサル民人ノ如キハ勢
之ニ鼓動誘惑セラレ漸ク着實ノ風ヲ去リテ輕
躁ニ移リ遂ニ民業上ニ施政上ニ弊害ヲ及ホス
コトナキニアラス就テハ此際學術練熟ノ學士
輩ニ於テ着實切要ノ學術講演ヲ為シ例ヘハ物

理化学博物ノ如キ農工商等實業ニ係ル學理方
法ノ如キ其他衛生上教育上ノ事項等凡テ日常
人生ニ緊要適切ナルモノヲ撰ミ通俗平易ノ言
辭ヲ以テ講演シ以テ眞正適實ノ智見ヲ傳播ス
ルニ至レハ夫ノ詭激ナル政談ニ鼓動セラレ不
當ノ學術演説ニ誘惑セラレントスル民人ノ如
キモ自然ニ悟得シテ彼ノ非ヲ去リテ此ノ是ニ
移リ輕躁ノ風ヲ轉シテ着實ニ向フニ至ルヘク
且民業上ニ於テモ亦甚タ效益アルヘシ蓋シ我
農工商等ハ元來學術ニ矇昧ナルヨリ此理ヲ推
シテ彼ニ及ホシ彼理ヲ轉シテ此ニ用ウル等ノ
工夫ニ乏ク寔ニ通シ宜キヲ圖ルノ智識ヲ欠キ
從テ其收メ得ハキノ利益モ之ヲ收ムル能ハス

或ハ叨ニ無謀ノ事業ヲ企テ失敗スルモノモ間
有之儀ニ候處今後着実切要ノ學術講演ヲ為シ漸
次彼徒ヲシテ學術ノ理法ヲ悟ラシムルニ至レ
ハ其事ノ改善スヘキモノハ之レカ改善ヲ圖リ
其理ノ轉用スヘキモノハ之レヲ轉用シ其無謀
ノ企圖ハ之ヲ抑止スル等農ニ工ニ商ニ其進歩
ヲ資クルコト尠シナラサルヘク又衛生上ニ関
シテハ傳染病ノ恐ルヘクシテ其豫防ニ注意セ
サルヘカラサル等ノ理ヲ會得スヘク其教育上
ニ関シテモ亦效益アルヘシト存候然ルニ右ノ
如キ着実切要ノ講演ヲ為スヘキ學術練熟ノ學
士輩ハ方今概ネ官途ニ在職シ而シテ官吏ハ前
陳御達ノ趣ニ因リ講演演說ヲ為シ得サルヲ以

テ為メニ真理実學傳播ノ途狹マリ從テ輕躁淺
學ノ徒益々其僻說ヲ逞フスルノ便ヲ得ントス是
レ甚ク憂フヘキ事ト存候抑官吏ノ公衆ヲ聚メ
講談演說ヲ為スヲ禁止セラレタルモノハ其ノ
或ハ不經ニ屬スルコトアラシク憲ラルハニ出
ソヘシト虽モ其不經ニ涉ル虞アルモノハ政談
演述ニ在テ夫ノ真正適実ノ學術ニシテ殊ニ練
熟ノ學士輩之ヲ講演スルカ如キハ弊害ナクシ
テ裨益多キコト前文陳述セシ如キ次第ニ付自
今東京大学教授等ハ其擔任ノ學科ニ限り政治
ニ屬スルモノヲ除キ適宜公衆ヲ聚メ學術講演
ヲナスコトヲ許可セラレ候様致度該教授等ハ皆
專門ノ學術ニ熟達シ思想モ確実ナルモノニ有

之候ハハ之ニ學術講演ヲ許スモ決シテ不經ニ
渉ルノ虞アラサルヘク而カモ尚ホ取締ノ法ヲ
設ケ施政上妨害トナラサル様嚴肅ニ監督ヲ加
ヘハ萬不都合ノ儀ナカルヘク且其職務ノ性質
ニ於テ他ノ一般官吏ト自ラ異ナル所モ有之候
ニ付之ニ特許ヲ與ヘラル、モ敢テ不當ニアラ
サルヘク旁右許可セラレ候トキハ学校教育ト
相待テ真正適実ノ學術漸次世間ニ傳播シ其效
益不尠ト存候間宜ク御諒察ノ上速ニ御裁可相
成度此段上稟候也

明治十七年三月

文部卿大木喬任

太政大臣三條實美殿

上申ノ趣聞届致事

明治十七年二月廿七日

太政官

新

濟

文甲一四編

舊見

明治十七年三月廿一日

大臣



内閣書記官



主管參議

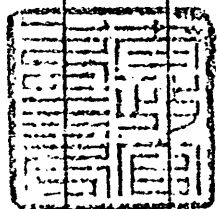


文部省上申東京大學教授等其
擔任學科、限り公衆ヲ聚、演言ヲ
為ス之事

文部省

明治十七年三月廿一日

第二局



別紙文部省上申東京大學教授等其擔
任ノ學科ニ限リ公衆ヲ聚メ演舌ヲ爲スノ件實
際效益ニ不少儀ニ付御聽許相成可然哉御
指令案ヲ具シ仰高裁候也

御指令案

上申ノ趣御用候事

明治十七年三月廿一日

宗教々育管理方之儀付

宗教々育ト一般教育トハ共ニ教育ニ外ナラス
候得共彼此自ラ其趣ヲ異ニスル所アルヨリ従
来其管理方ニ至テモ亦一途ニ帰セス而シテ宗
教々育ニ係ル諸事教部有ノ設置アリレバ該
省ニ於テ為ラ之ヲ管理シ當省ニ屬ノ一般教育
トハ判然区別アリレ儀、ナ明治十年教部有度
止ニ後モ該省ノ事務ハ仍テ内務省ニ付セラル
ルニ付テハ宗教々育ニ係ル亦従テ内務省ニ付
セラル儀、可考之由々、此様事教部有本邦有住
民ニ對シテ其宗教々育ニ係ルニ付テハ
此等事ニ該省有リ、内務省、申出テ處有ハ